

※回答は、該当する選択肢の番号を○で囲んでください。

※（ ）には具体的な言葉や数字を記入してください。

I 震災・原発事故後の生活の変化

- 【1】 震災・原発事故前と比べて現在の（回答者もしくは主たる家計支持者）
お仕事の状況はいかがですか。

- | | | |
|----------------------|-----------|------------|
| 1. 震災・事故前と同じ仕事を続けている | 2. 休業・休職中 | |
| 3. 失業・廃業した | 4. 転職した | 5. 事故前から無職 |

- 【2】 震災・原発事故前と比べて、家計の収入に変化はありましたか。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 増加した | 2. 大きな変化はない |
| 3. 震災・原発事故に関わる理由で減少した | 4. 3以外の理由で減少した |

- 【3】 震災・原発事故前と比べて、家計の支出に変化はありましたか。

- | | | |
|---------------------------|-------------|---------|
| 1. 放射能汚染・地震被害への対応のために増加した | | |
| 2. 1以外の理由で増加した | 3. 大きな変化はない | 4. 減少した |

II 原発事故当時と現在の行動

- 【4】 栃木県において、事故後に野菜類の出荷制限がかかったことにたいし、2011年3月の時点でどのように感じましたか。一番近いものに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 出荷制限をするなんて、大げさだと感じた |
| 2. 出荷制限については深刻に受け止めなかった |
| 3. 出荷制限がかかった食品を避けようと思った |
| 4. 出荷制限がかかった食品に加え、地元産を避けるようと思った |
| 5. 出荷制限を知らなかった |

- 【5】 事故後の飲用水は、どのように確保していましたか。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 水道水を飲んでいました |
| 2. ペットボトルを利用したが、水道水の利用はかわらなかった。 |
| 3. ペットボトルを中心に利用し、水道水なるべく飲まないようにした |
| 4. 以前より水道を利用していない・規制されていない地域に居住していた。 |

- 【6】 摂取制限がかかった野菜類（ハウレンソウ、カキナ、キノコ類）について

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 一切、摂取しないようにした | 2. 摂取量を減らした |
| 3. 以前と変わらず食べていた | 4. 制限がかかっている食品がわからなかった |

【12】 【11】で「大いに不安である」「やや不安である」と回答された方にかがいます。
外部被ばくによる健康不安は、事故後3年目を迎えて変化しましたか。

- | | | |
|--------------|----------|--------------|
| 1. 不安が大きくなった | 2. 変わらない | 3. 不安は小さくなった |
|--------------|----------|--------------|

【13】 市が実施している住宅除染事業を利用したことがありますか。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 利用した | 2. まだ利用していないが、今後利用する予定 |
| 3. 利用しておらず、今後も予定はない | 4. 事業を知らなかった |

【14】 【13】で「利用した」と回答された方にかがいます。

事業を利用した結果、子どもの健康についての認識に変化はありましたか。

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 不安が大きくなった | 2. 不安は解消されない |
| 3. 不安が小さくなった | 4. 以前から不安ではなく、変化はない |

【15】 【13】で「利用しておらず、今後も予定はない」と回答された方にかがいます。
市の住宅除染事業を利用しない主な理由を1つ選んでください。

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 除染の対象となる地域に自宅がないため | 2. 自宅の線量がわからないため |
| 3. 除染が必要な線量ではないと判断したため | 4. 周囲に除染する人がいないため |
| 5. 表土除去による除染を実施してもらえないため | 6. すでに自費で除染したため |

【16】 放射能による内部被ばく*が子どもの健康に及ぼす影響について、現在不安を感じていますか。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 大いに不安である | 2. やや不安である |
| 3. あまり不安ではない | 4. ほとんど不安ではない |

※ 内部被ばくとは、放射性物質を含んだ食べ物を食べたり、空気中の放射性物質を吸い込むなどして、体の内部から放射線にさらされること。

【17】 【16】で「大いに不安である」「やや不安である」と回答された方にかがいます。
内部被ばくによる健康不安は、事故後3年目を迎えて変化しましたか。

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 大きくなった | 2. 変わらない | 3. 小さくなった |
|-----------|----------|-----------|

【18】 市が実施している食品の放射性物質簡易検査事業を利用したことがありますか。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 利用した | 2. まだ利用していないが、今後利用する予定 |
| 3. 利用しておらず、今後も予定はない | 4. 事業を知らなかった |

【19】 【18】で「利用した」と回答された方にかがいます。検査をした結果、子どもの健康についての認識に変化はありましたか。(次ページに続く)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 不安が大きくなった | 2. 以前と変わらない |
| 3. 不安が小さくなった | 4. 以前から不安ではなく、変化はない |

【20】 【18】で「利用しておらず、今後も予定はない」と回答された方にかがいます。
食品の放射性物質簡易検査事業を利用しない主な理由を、1つ選んでください

- | | |
|--|--------------|
| 1. 曜日や時間帯の都合がつかないため | 2. 検査場所が遠いため |
| 3. 周囲に検査する人がおらず、自分の家庭だけで検査することをためらったため | |
| 4. 検査機器の検出限界値*が高いため | |
| 5. 検査結果の評価の仕方やその後の対応方法がわからないため | |
| 6. 被ばくについて考えることがストレスとなるため | |
| 7. 内部被ばくについて心配していないため | |

*検出限界値とは、実際にはないものがあると判断してしまう（またはその逆）可能性が十分に低いという値であり、その値以上の放射性物質がある場合にのみ、検出できます。

【21】 市が実施しているホールボディカウンタによる内部被ばく検査を利用したことがありますか。

- | |
|-------------------------|
| 1. 子どものみ利用した |
| 2. 子どもおよび回答者本人も利用した |
| 3. 大人（回答者以外も含む）のみ利用した |
| 4. 子どもおよび大人（回答者以外）も利用した |
| 5. まだ利用していないが、今後利用する予定 |
| 6. 利用しておらず、今後も予定はない |
| 7. 事業を知らなかった |

【22】 【25】で「利用した」と回答された方にかがいます。
検査を受けた結果、健康不安についての認識に変化はありましたか。

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 不安が大きくなった | 2. 以前と変わらない |
| 3. 不安が小さくなった | 4. 以前から不安ではなく、変化はない |

【23】 【25】で「利用しておらず、今後も予定はない」と回答された方にかがいます。
ホールボディカウンタを利用しない主な理由を1つ選んでください

- | | |
|--|--------------|
| 1. 曜日や時間帯の都合がつかないため | 2. 検査場所が遠いため |
| 3. 周囲に検査する人がおらず、自分の家庭だけで検査することをためらったため | |
| 4. 検査機器の検出限界値*が高いため | |
| 5. 検査結果の評価の仕方やその後の対応方法がわからないため | |
| 6. 被ばくについて考えることがストレスとなるため | (次ページに続く) |

7. 内部被ばくを心配していないため

*検出限界値とは、実際にはないものをあると判断してしまう（またはその逆）可能性が十分に低いという値であり、その値以上の内部被ばくがある場合にのみ、検出できます。

【24】 今年の1月から、母乳及び尿の放射性物質検査事業として、内部被ばく検査への助成（未就学児童、妊産婦対象）を市が始めていますが、この事業を利用したことがありますか。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 利用した | 2. まだ利用していないが、今後利用する予定 |
| 3. 利用しておらず、今後も予定はない | 4. 事業を知らなかった |

【25】 **【24】**で「利用した」と回答された方にうかがいます。

検査を受けた結果、健康不安についての認識に変化はありましたか。

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 大きくなった | 2. 変わらない | 3. 小さくなった |
|-----------|----------|-----------|

【26】 **【24】**で「利用しておらず、今後も予定はない」と回答された方にうかがいます。
母乳および尿の放射性物質検査事業を利用しない主な理由を1つ選んでください。

- | |
|--|
| 1. 受付窓口に申し込みに出かける時間がないため |
| 2. 母乳や子どもの尿の検体を準備するための時間や余裕がないため |
| 3. 検査結果の評価の仕方やその後の対応方法がわからないため |
| 4. 周囲に検査する人がおらず、自分の家庭だけで検査することをためらったため |
| 5. 被ばくについて考えることがストレスとなるため |
| 6. 内部被ばくについて心配していないため |

【27】 お子さんの健康状態に関して、事故前にはなかった症状で次のような症状が過去1年間にみられましたか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | | | |
|-----------|-----------------------|----------|---------|----------|---|
| 1. 頭痛 | 2. 腹痛・胃痛 | 3. 嘔吐・下痢 | 4. 食欲不振 | 5. せきが出る | |
| 6. のどの痛み | 7. 皮膚のかゆみ | 8. 鼻血 | 9. 発熱 | 10. 風邪 | |
| 11. 疲れやすい | 12. 眠れない（夜中に何度も目を覚ます） | | | | |
| 13. その他（ | | | | | ） |

V 放射能問題への対応について

【28】 あなたは原発事故の発生後から現在までに、次のようなことをしていますか。

【28-1】 自宅や自宅周辺などの放射線量の測定

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. している | 2. 以前はしていたが、今はしていない |
| 3. していないが、今後する予定である | 4. しておらず、今後も予定はない |

【28-2】線量の高い場所に近づかないようにしている

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. している | 2. 以前はしていたが、今はしていない |
| 3. していないが、今後する予定である | 4. しておらず、今後も予定はない |
| 5. 線量の高い場所を知らない | |

【28-3】食べ物や飲み水の線量の測定

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. している | 2. 以前はしていたが、今はしていない |
| 3. していないが、今後する予定である | 4. しておらず、今後も予定はない |

【28-4】外遊びの際には放射線量の低いところに出かける

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. している | 2. 以前はしていたが、今はしていない |
| 3. していないが、今後する予定である | 4. しておらず、今後も予定はない |

【28-5】放射線量の低い地域への短期保養

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. している | 2. 以前はしていたが、今はしていない |
| 3. していないが、今後する予定である | 4. しておらず、今後も予定はない |

【29】 原発事故に関連した放射性物質に関する情報を普段から入手していますか。

以下のうちから主な情報源を選んでください。(複数回答)

- | | | | | |
|-----------------------------------|------------|-------|-------|---------------|
| 1. テレビ | 2. ラジオ | 3. 新聞 | 4. 雑誌 | 5. 行政機関の広報紙など |
| 6. 行政機関のホームページなど | | | | |
| 7. パソコンや携帯電話(インターネット、ブログ、ツイッターなど) | | | | |
| 8. 家族・友人・知人からの口コミ | 9. 入手していない | | | |

【30】 放射性物質による健康影響に関するご自分の知識ほどの程度あると思いますか。

- | | | | |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 1. かなりある | 2. まあまあある | 3. あまりない | 4. ほとんどない |
|----------|-----------|----------|-----------|

【31】 原発事故当時、事故や放射性物質に関する情報はどこから入手していましたか。

(複数回答)

- | | | | | |
|-----------------------------------|-------------|-------|-------|---------------|
| 1. テレビ | 2. ラジオ | 3. 新聞 | 4. 雑誌 | 5. 行政機関の広報紙など |
| 6. 行政機関のホームページなど | | | | |
| 7. パソコンや携帯電話(インターネット、ブログ、ツイッターなど) | | | | |
| 8. 家族・友人・知人からの口コミ | 9. 入手できなかった | | | |

【32】 現在の時点において、あなたが原発事故や放射能放射性物質に関する知識や情報が事故当時にあつたら、事故当時の行動は変わっていたと思いますか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 変わっていた | 2. たぶん変わっていた |
| 3. たぶん変わらない | 4. ほとんど変わらない |

【33】 原発事故後から現在までに、次のように思ったことはありますか。

【33-1】 できれば避難したい。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 今も思っている | 2. 以前はそう思ったが、今は思っていない |
| 3. 以前から思ったことはない | |

【33-2】 栃木県北地域の子どもたちの将来が心配である。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 今も思っている | 2. 以前はそう思ったが、今は思っていない |
| 3. 以前から思ったことはない | |

【33-3】 放射能問題や不安について、なんでも本音で話せる相手が少ない。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 今も思っている | 2. 以前はそう思ったが、今は思っていない |
| 3. 以前から思ったことはない | |

【33-4】 放射能への対応をめぐって配偶者の認識にずれを感じている。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 今も思っている | 2. 以前はそう思ったが、今は思っていない |
| 3. 以前から思ったことはない | |

【33-5】 放射能への対応をめぐって両親・親族の認識にずれを感じている。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 今も思っている | 2. 以前はそう思ったが、今は思っていない |
| 3. 以前から思ったことはない | |

【33-6】 放射能への対応をめぐって近所や周囲の人々の認識にずれを感じている。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 今も思っている | 2. 以前はそう思ったが、今は思っていない |
| 3. 以前から思ったことはない | |

【33-7】 放射性物質の対応をめぐって女性・母親の声が十分に反映されていない。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

【33-8】 栃木県北の放射性物質に関する問題は全国的に十分知られていない。

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 1. 今も思っている | 2. 以前はそう思ったが、今は思っていない |
| 3. 思ったことはない | |

VI 必要な支援や対策について

【34】 自治体が行い取り組むべき放射能対策のうち、今後特に力を入れるべきだと考えるものを3つまで選び、○をつけてください。

- | |
|------------------------|
| 1. 自宅周辺や自宅内の除染の実施と継続 |
| 2. 通園路や遊び場の屋外の除染の実施と継続 |
| 3. 農作物や食品の安全確認や情報提供 |
| 4. 健康診断・健康相談 |
| 5. ストレスなどこころに関する相談 |

(次ページに続く)

- 6. 子どもを対象とした1日から数日程度の短期間を放射線量の低い地域で過ごす保養プロジェクト
- 7. 放射線の影響や防護の方法に関する情報を提供する説明会や講演会

【35】 現在までに市が実施している対策事業を、どのように評価していますか。

- 1. 大いに評価している
- 2. ある程度評価している
- 3. あまり評価していない
- 4. ほとんど評価していない
- 5. 事業についてよく知らない

【36】 2012年6月に国会で成立した「原発事故子ども被災者支援法」について、知っていますか。

- 1. 聞いたことがある
- 2. 聞いたことがあり内容も知っている
- 3. 聞いたことがない

I 回答者自身について

【37】 あなたの性別を教えてください。

- 1. 男性
- 2. 女性

【38】 年齢

- 1. 10歳代
- 2. 20歳代
- 3. 30歳代
- 4. 40歳代
- 5. 50歳代
- 6. 60歳代以上

【39】 現在の地域にお住まいになって何年になりますか。

- 1. 2年未満
- 2. 5年未満
- 3. 10年未満
- 4. 20年未満
- 5. 30年未満
- 6. 30年以上

【40】 お子さんの人数と年齢を教えてください。

- 第一子 () 歳
- 第二子 () 歳
- 第三子 () 歳
- 第四子 () 歳
- 第五子以上のお子さん ()

【41】 子どもの保護者として、特に必要な支援や要望がありましたら、自由に記載してください。

自由記述

アンケートは以上です。ご協力いただきまして、ありがとうございました。